

# 革命

39号 2月 20日  
毎月1日・15日発行  
発行所  
東京都文京区本郷2-15  
14編者ビル  
現代社  
電話 東京(03)-7967  
振替口座 東京 1-142618  
編集者 田中延太郎  
印刷所 印刷部  
6ヶ月12回送料共300円

万國の労働者団結せよ！  
日本社会主義青年同盟  
学生班協働会解散派

## 早大闘争の革命的推進の中で全国全共闘結成さる

### 小ブル諸派による利用と、小ブル的固定化、ポツダム自治会 止揚の放棄を許さず、安保—教育を闘い抜く機関として 全学連—反帝学評を軸に打ち固めよ！

#### (一) はじめに

早大闘争は、戦後日本における学生運動の一大転機を画した。この闘争は、単なる学生生活の改善を求めたものではなく、国家の根本的変革を求めた革命的な闘争であった。この闘争の中で、全国全共闘が結成され、学生運動の統一と発展の道が開かれた。この闘争は、小ブル諸派による利用と、小ブル的固定化、ポツダム自治会止揚の放棄を許さず、安保—教育を闘い抜く機関として、全学連—反帝学評を軸に打ち固めよ！

## 10.21佐藤訪米阻止を職場学園ストを打ち抜き 対中央権力現地実力闘争で勝利せよ！

佐藤首相の訪米阻止をめぐり、職場と学園のストライキが展開されている。これは、対中央権力現地実力闘争の勝利への第一歩である。我々は、この闘争を徹底的に打ち抜き、勝利を収めよう。

## 早大 第一学館不屈の死守四時間

### 死守戦に勝利し、反帝学評、早大全共闘、馬場から進軍、教育、安保に新たな地平

早大第一学館の死守戦は、四時間続いた。我々の不屈の闘争は、死守戦に勝利し、反帝学評、早大全共闘、馬場から進軍、教育、安保に新たな地平を開いた。この勝利は、我々の闘争の正当性を証明し、全国の学生運動に大きな勇気を与えた。



早大第一学館の死守戦の様子。多くの学生が参加し、不屈の闘争を繰り出した。

#### (二) 全学連の任務

全学連は、学生運動の統一と発展を担うべき機関として、以下の任務を遂行する必要がある。

- 1. 学生生活の改善を求め、教育の質を向上させる。
- 2. 安保問題に関与し、国家の根本的変革を求め、民主主義を擁護する。
- 3. 労働運動と連携し、社会主義的闘争を展開する。

#### (三) 全国全共闘の任務

全国全共闘は、全国的な学生運動の統一と発展を担うべき機関として、以下の任務を遂行する必要がある。

- 1. 全国の学生運動を統一し、共同の闘争を展開する。
- 2. 労働運動と連携し、社会主義的闘争を展開する。
- 3. 国家の根本的変革を求め、民主主義を擁護する。

#### 全国反帝学評連合会第三次定期大会

全国反帝学評連合会は、第三次定期大会を開催し、今後の闘争方針を決定した。大会は、学生生活の改善と、安保問題の解決を求め、民主主義を擁護する方針を打ち出した。

#### 今秋の総路線と新執行部を確立

我々は、今秋の総路線を確立し、新執行部を確立する必要がある。これは、我々の闘争の勝利への第一歩である。



全国反帝学評連合会第三次定期大会の模様。多くの学生が参加し、重要な決断を下した。

### 神奈川労学連帯集會

時 九月十日(水)六時  
所 川崎読売ホール  
主催 神奈川労学連帯集會実行委員会

### 全関東反戦青年・学生統一集會

時 九月十五日午後一時  
所 磯川公園(〒101日比谷)  
呼びかけ 東京反戦代表委員 樋口 圭之介

### 全都労学政治集會

時 九月二十日午後六時  
所 目黒公会堂  
主催 東京都労学連帯集會実行委員会

### 九・四憲法阻止闘争に プロ統派現地闘争に決起

#### プロレタリア解放のために

我々は、プロレタリアの解放のために、不屈の闘争を繰り出す必要がある。これは、我々の使命である。

社青同解放派論文集  
発行所 現代社  
編集者 田中延太郎

